

普及活動情勢報告（令和8年4月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

未来を語る経営者の育成に向けて ～ 安芸虎経営塾 ～



グループワークに取り組む
普及指導員と生産者

4月7日、生産者及び安芸農業振興センター、関係機関で運営する安芸虎農業経営塾（第27回）が開催され、青年農業士など14名が参加しました。

農業改良普及課は、会の運営やグループワークのファシリテートを生産者、JAと連携して実施しました。

参加者からは、「情報収集だけでなく、意見交換やプレゼンテーションできる場にもなっている。視野を広げて様々なことにチャレンジしていきたい。」といった意気込みが聞かれました。

農業改良普及課は、今後も生産者や関係機関と連携し、将来ビジョンを持った経営者の育成に取り組んでいきます。

1年後の独立就農を見据えて ～ 研修状況の確認 ～



研修状況を聞き取る
普及指導員

4月9日、芸西村の農業担い手候補生として、指導農業士の元で実践的な栽培技術や経営を学ぶ地域おこし協力隊の状況確認を農業会議と共同で実施しました。

農業改良普及課は、研修状況の聞き取りと合わせて、令和8年度に実施する研修やサポートハウスに関する情報提供を行いました。

技術習得に取り組む地域おこし協力隊からは、「就農に向けて、不安6割、期待4割。知識・技術の習得に引き続き励む。」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関等と連携し、地域を支える担い手の確保・育成に取り組んでいきます。

伝統野菜「ぼたなす」の販売促進の実施 ～ぼたなすのフライが大好評！～



ぼたなすのフライに
長蛇の列

4月12日、日南・大平集落活動センターひなたぼっこが、伝統野菜ぼたなすの販売促進活動を高知市の金高堂書店本店前で実施し、関係機関を含め6名が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は、ぼたなすの特徴や調理方法などの説明とともに、来店者へのPR活動を支援しました。

来店者からは大きさや味の良さに関心を示す声が多く、試食をきっかけに購入する来店者も多く見られました。また、ぼたなすのフライの販売は、準備した50個が早々に完売するなど、大盛況となりました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も販売促進活動を通じた認知度向上と生産振興を支援していきます。

作終了まで管理の徹底を！ ～奈半利町新規就農者巡回～



説明を行う普及指導員

4月13日、JAと奈半利町役場及び農業改良普及課は、奈半利町のナス新規就農者等5名に対し、巡回指導を行いました。

農業改良普及課は、栽培状況の確認やかん水、施肥、病虫害防除等今後の管理について指導しました。

新規就農者からは、「今後どのような病虫害に注意したらいいか」「天気予報を見ながら防除を徹底する」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、新規就農者の収量向上に向けて支援していきます。

アルゼンチンの花き農家らへ技術指導 ～芸西ブルースター開発部会～



芽かきを実演する
生産者

ブルースター開発部会では、オキシペタラムの原産地の南米と技術交流し、品種開発や技術指導に取り組んでいます。4月15日は、アルゼンチンの花き農家ら5名が来日し、部会の4名から栽培方法や出荷調整の方法について学びました。

農業改良普及課は、芸西村での花き栽培の概要と病虫害防除の方法等を説明しました。

生産者からは「今後も技術交流を通じて、両国の花き振興につなげたい」と意欲がみられました。

今後は、生産者が南米を訪問し、現地で技術指導を行う際のツールとして、動画を用いた栽培資料の作成を支援していきます。